

「地球温暖化対策計画」等説明会
新潟市の温暖化対策
について

平成28年9月27日
新潟市環境政策課



Character design: 5o26o4

とめドキくん
(新潟市地球温暖化防止キャラクター)

新潟市の概況

【人口】

新潟県：2,305千人
新潟市：811千人
(H27年国勢調査結果速報)

【面積】

新潟県：12,584km²
新潟市：726km²

【気候】

年平均気温：13.9℃
年平均降水量：1,821mm
(新潟地方气象台データ)



新潟市の特徴

【主な産業】

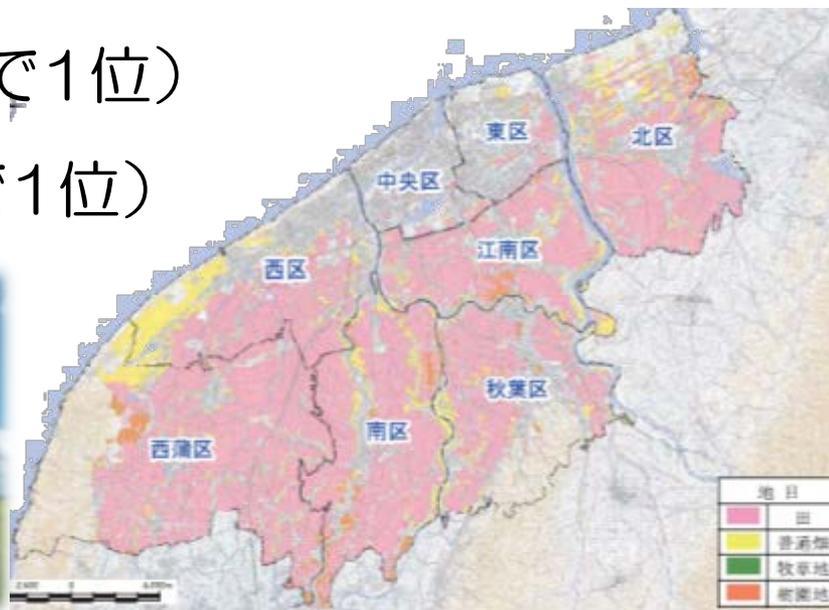
サービス業，小売業，製造業（米菓・かまぼこ等の食料品、化学工業、パルプ・紙 など）

【土地利用】 農地割合46%（田28,500ha，畑4,740ha）

【食料自給率】 63%（政令市で1位）

【水稻収穫量】 145,200 t（国内で1位）

【認定農業者数】 3,122人（国内で1位）



新潟市のめざすまちづくり

「田園と都市が織りなす，環境健康都市」

日本一の田園都市という特色を活かし、都市と田園地域の人や食文化・エネルギーなど豊かな価値を互いに循環させ、共に発展する**田園型環境都市**をめざす。



環境モデル都市への選定

第1次選定都市		第2次選定都市		第3次選定都市	
①	下川町(北海道)	⑭	新潟市(新潟)	⑳	ニセコ町(北海道)
②	帯広市(北海道)	⑮	つくば市(茨城)	㉑	生駒市(奈良)
③	千代田区(東京)	⑯	御嵩町(岐阜)	㉒	小国町(熊本)
④	横浜市(神奈川)	⑰	尼崎市(兵庫)		
⑤	飯田市(長野)	⑱	神戸市(兵庫)		
⑥	富山市(富山)	⑲	西粟倉村(岡山)		
⑦	豊田市(愛知)	⑳	松山市(愛媛)		
⑧	京都市(京都)				
⑨	堺市(大阪)				
⑩	梶原町(高知)				
⑪	北九州市(福岡)				
⑫	水俣市(熊本)				
⑬	宮古島市(沖縄)				

新潟市は2013年3月に選定

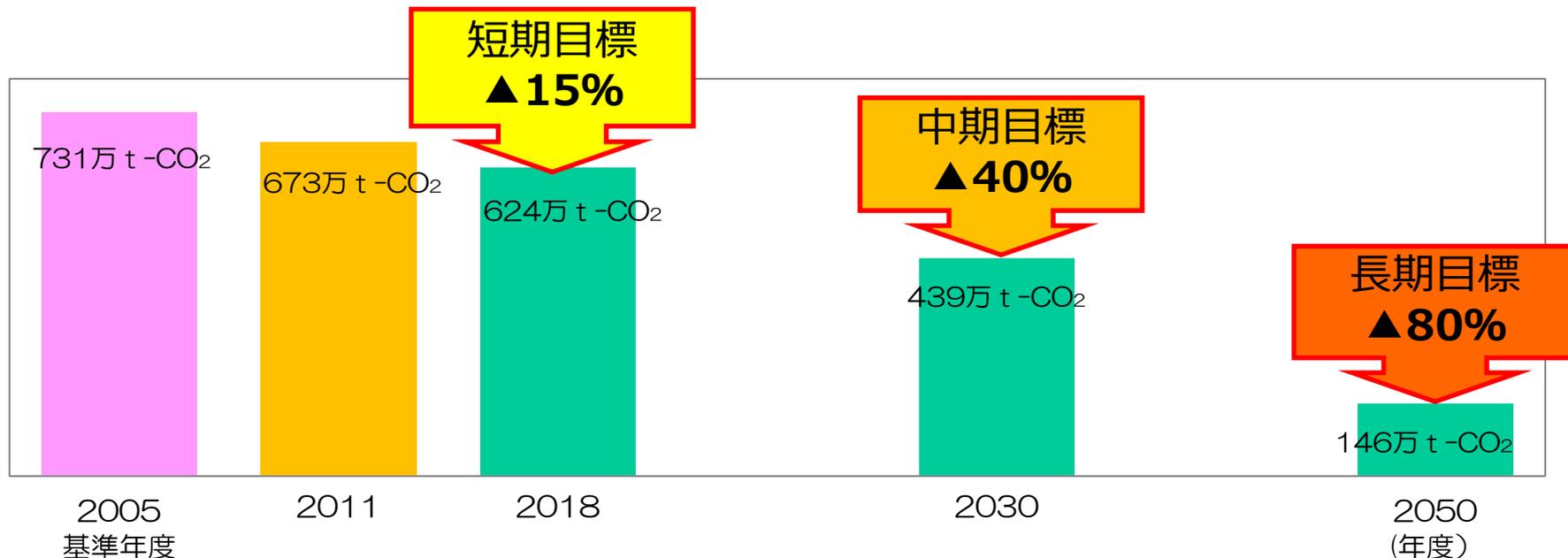


新潟市の実行計画について

新潟市地球温暖化対策実行計画

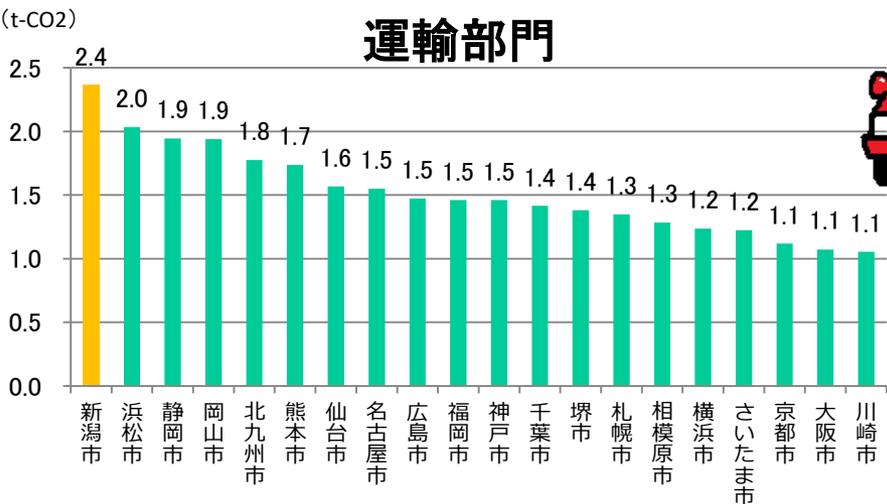
～環境モデル都市アクションプラン～

- (1) 計画期間 2014年度～2018年度
- (2) 対象 新潟市域から排出されるCO₂
- (3) 目標値 2018年度までに2005年度比15%削減
2030年度までに40%、2050年度までに80%

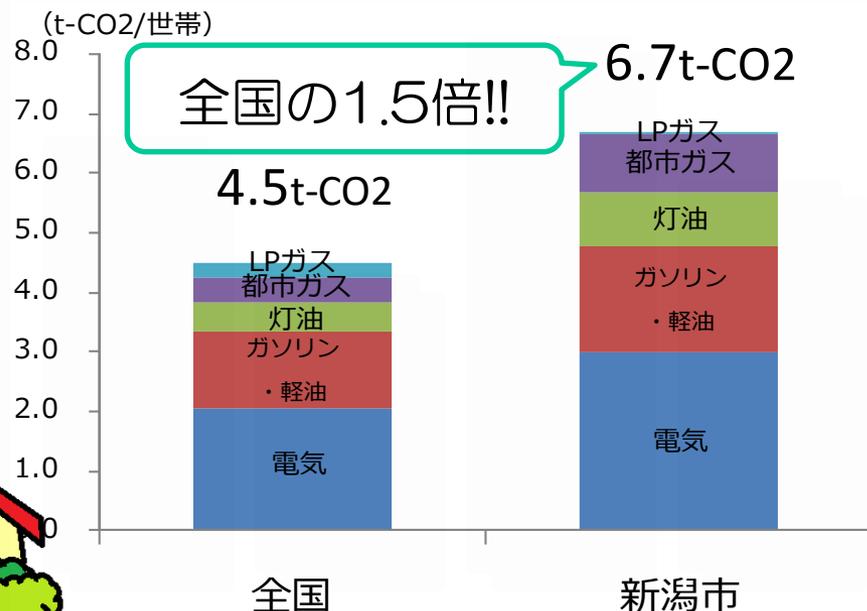


新潟市のCO₂排出量の特徴

他の政令市と人口一人当たり比較



一世帯あたりのCO₂排出量



出典: 環境省簡易マニュアルによる推計(2012)より新潟市で作成

出典: 温室効果ガスインベントリオフィス(2010), 新潟市算定値(2010)

計画における施策の基本方針

1 田園環境の保全・持続可能な利用

- 田園資源の有効活用
- 都市と田園の交流促進

2 スマートエネルギーシティの構築

- 未利用エネルギーの活用推進
- バイオマス利活用の推進

3 低炭素型交通への転換

- 公共交通網の再構築
- 低炭素型モビリティへのシフト

4 低炭素型ライフスタイルへの転換

- 低炭素型ライフスタイルへの誘導
- 健やかで幸せに暮らせるまちづくり（SWC）の推進

田園環境の保全に係る施策

● 田園資源の有効活用

新潟ニューフードバレーの形成
農業活性化センター



新潟発わくわく教育ファームの推進

アグリパーク

市内の全小学生が農業体験



いくとぴあ食花

食と花のブランド発信拠点



植物系バイオマス利活用の推進

エネルギーとしての
もみ殻活用



ペレットボイラー

里山間伐材のエネルギー利用



農業の新たな価値の創出

にいがた未来ポイント

【にいがた未来ポイント事業とは】

- 低炭素型ライフスタイルへの誘導策の一つとして実施する
市民へのインセンティブ制度
- 健康づくり支援策と連携して実施
- 事業実施主体は環境部と保健衛生部
- 平成27年7月より開始
- FeliCaを活用したポイント制度

【それぞれの政策課題】

環境

- 家庭のCO₂排出量全国平均の1.5倍
- 運輸部門の人口一人あたりCO₂排出量が政令市で高い位置にある
⇒低炭素ライフスタイルへのシフトによる省エネ推進

健康

- 1日あたりの平均歩数が少ない（H19市民健康・栄養調査）
男性6,401歩（全国平均：7,074歩）
女性5,990歩（全国平均：6,006歩）
⇒健康意識を高め、歩数増による健康寿命延伸



市民の自主的な取り組み促進が必要

これまでの取り組み

【それぞれのインセンティブ制度】

環境

<省エネモニター制度（H22～26）>

- 年初めにモニター募集
- 毎月のエネルギー使用量をチェックシートに記録
- 1年分の記録をしたチェックシートを送付した方に新潟市共通商品券千円分を贈呈

健康

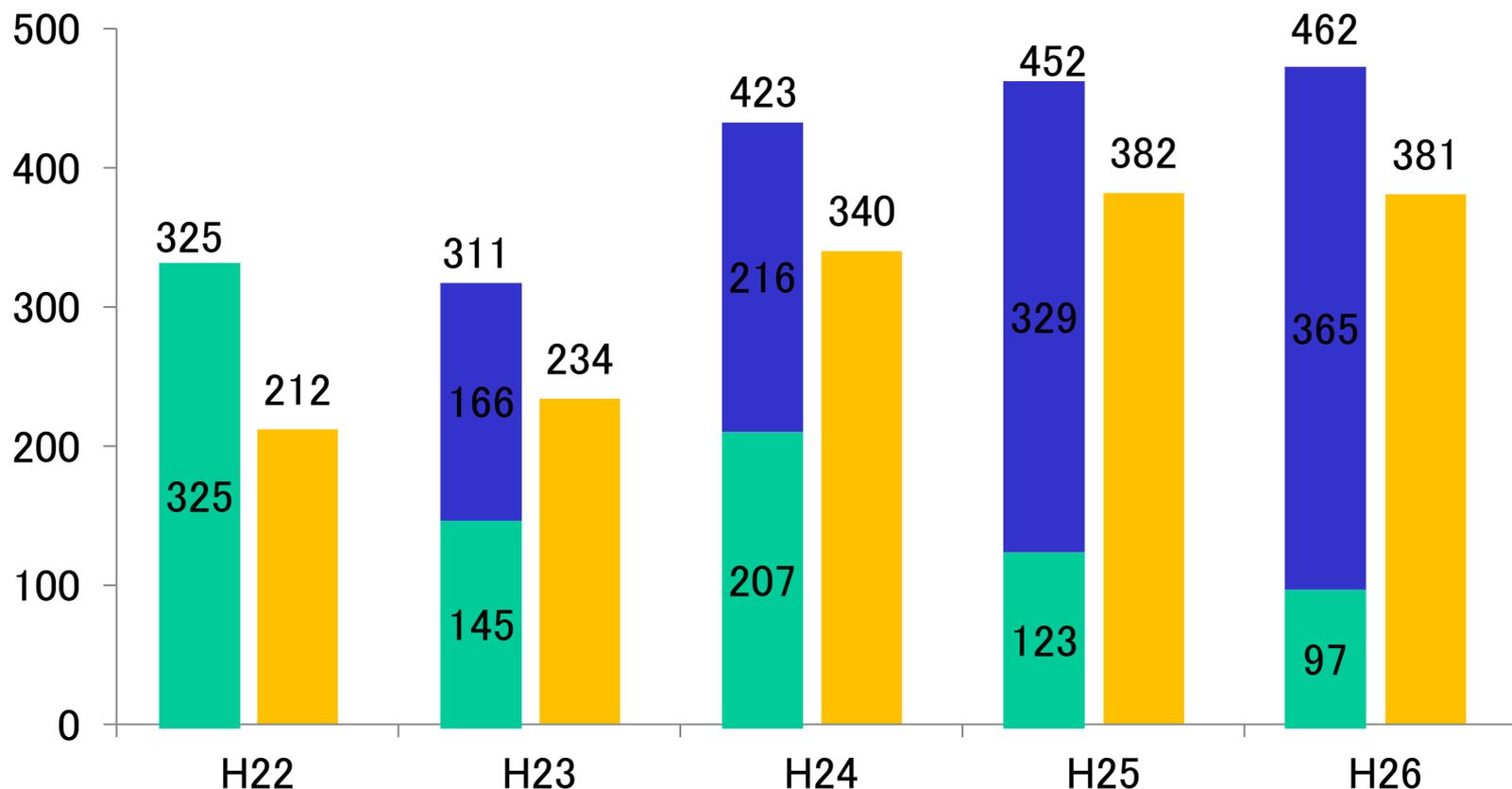
<健康マイレージ制度（H26～）>

- 健康づくり関連事業への参加者にスタンプまたはシールを発行
- 専用台紙に3つ集めて景品が当たる抽選へ応募
- 当選者へ景品贈呈

省エネモニター制度の実績

【モニター登録件数実績】

(件) ■ 新規 ■ 継続 ■ チェックシート送付件数

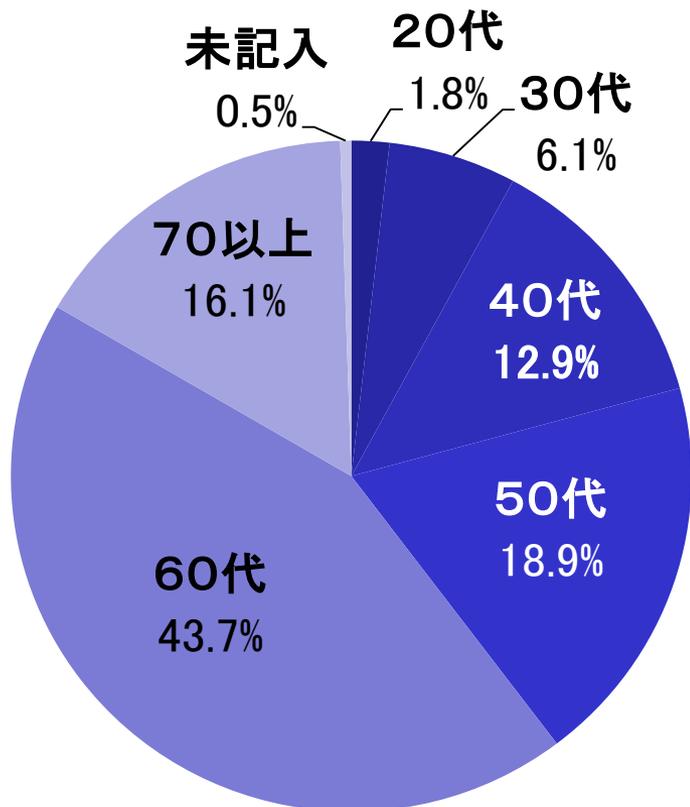


健幸マイレージ制度の実績

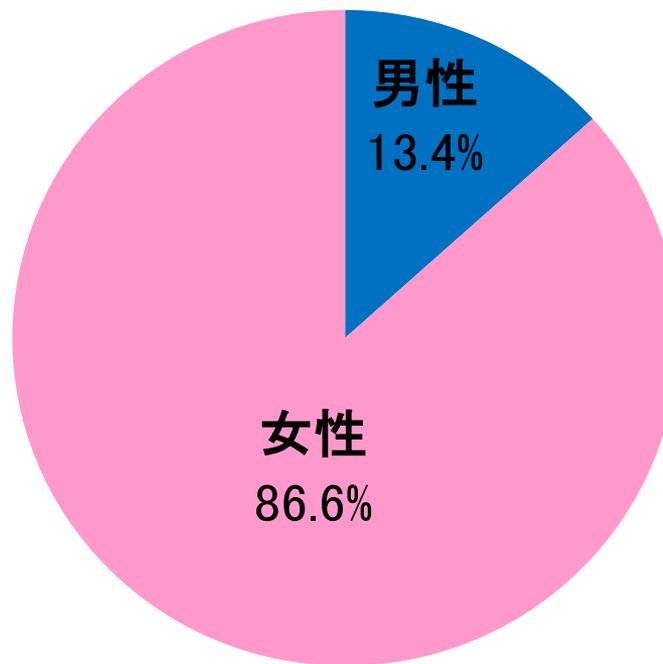
【H26年度実績】

応募総数：15,273口

応募実人数：約5,000人



**<2事業共通の悩み>
幅広い市民の参加を促
したい！**



ポイント制度の概要①

STEP 1 参加

対象事業へ参加

環境保全活動



環境・健康イベント



省エネキャンペーン への応募

夏・冬3か月分のエネルギー
使用量報告で地産・地消品な
どが当たる抽選に参加できる
キャンペーン



環境・健康講座



…など

ポイント制度の概要②

STEP2 ポイント ゲット

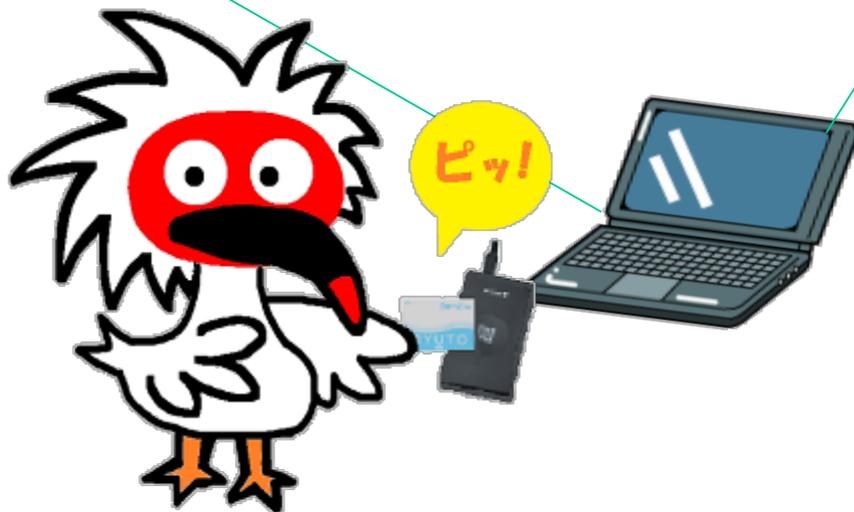
にいがた未来ポイント管理システム
テスト(ポイント重複許可)

メニューに戻る

りゅーとカード、または、おサイフケータイを
タッチしてください。

にいがた未来ポイント番号
IDi

加算ポイント	5000 P
加算後残高	P



会場でポイント発行端末
にタッチ

ポイント発行媒体



①バスICカードりゅーと



②おサイフケータイ対応
携帯端末

ポイント制度の概要③

STEP3 交換

1,000ポイント
たまったら交換



交換端末：区役所等市内33カ所
交換券を発券

にいがた未来ポイント
〈交換券〉

有効期限
2016年07月01日

発行日時
2016年04月01日
16時23分

未来ポイント番号
0000111122223333

署名欄

お問合せ電話番号：025-000-0000

受領印

取引番号：0000000000000000
端末番号：00000

ポイント交換対象



①新潟市共通商品券(千円)

交換窓口
イオン等市内8カ所

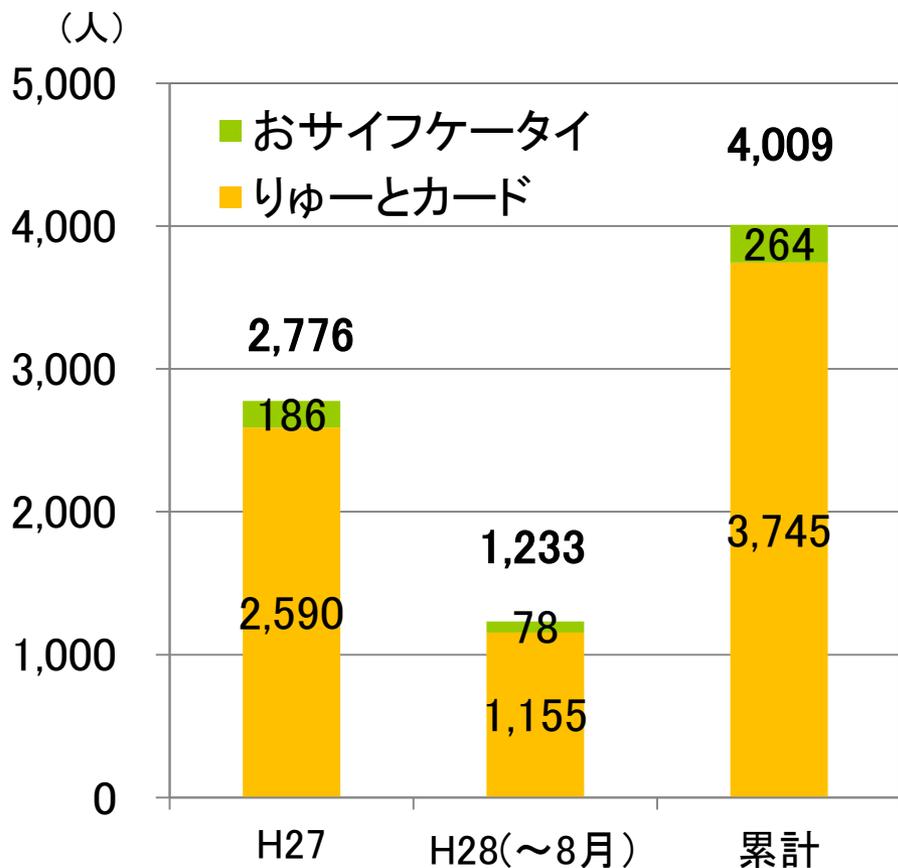


②バス乗車ポイント(千円分)

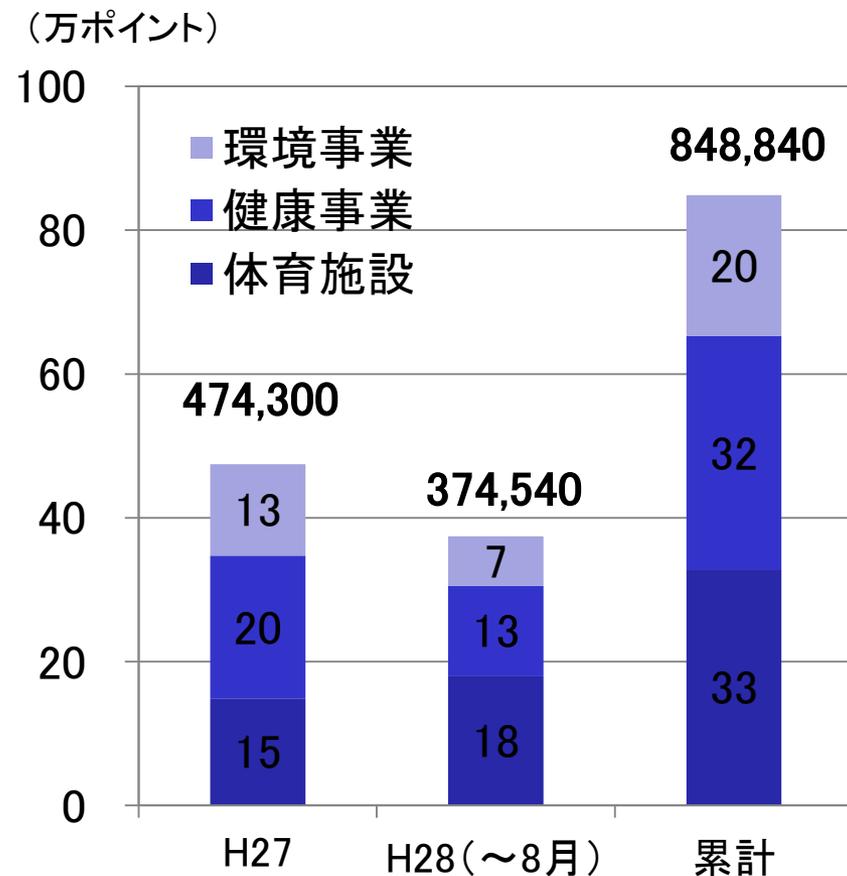
交換窓口
バスセンター案内所

これまでの実績

【ポイント制度参加者数】



【ポイント発行数】



これからの展望

○対象事業の拡大（実際の行動に対するポイント）

- ・ エネルギー使用量報告または削減に応じたポイント発行
- ・ 歩いた歩数に応じたポイント発行

○対象事業の拡大（健康，環境以外の分野にも）

- ・ 市民活動支援，子育て支援など

○民間のポイントとの連携

- ・ 商店街ポイント，電子マネーなどとの交換
- ・ 民間事業へのポイント発行

ありがとうございました。

